令和4(2022)年度 学習の手引き(シラバス)

科 目 名 化学基礎 単 位 数 2

1. 教科書・副教材

改定化学基礎 (第一学習社)

2. 科目の目標

自然に対する関心や探究心を高めるために、化学的な基本事項から一歩踏み込んだ事柄への学習ができるようにさせ、実験や学習を通して科学的な探究心を目覚めさせる。

3. 学習の計画

		学習	習の内容	考査範囲	時数(予定)
	4月	1 物質の探求	1純物質と混合物、2混合物の分離		
1		1 物質の構成	3単体と元素	 中間考査	
			4物質の三態と状態変化	中间专重	
学	5月		5 粒子の熱運動		2 0
		2物質と化学結合	1原子、2電子配置と周期表		
期	6 月	2物質と化学結合	1イオン、2イオン結合とイオン結晶	期末考査	
		1 物質と化学結合	3 共有結合と分子		
	7月	1 物質と化学結合	4極性と分子間に働くカ		
2	8月		5金属結合と金属	中間考査	
			6分子結晶と共有結合の結晶		
学	9月	2物質の利用	1金属の利用		2 6
-			2高分子化合物とその利用		20
期	10 月	3物質の変化	1原子量・分子量・式量、2物質の量	期末考査	
	11月	1 物質量と化学反応式	3 化学変化と化学反応式		
			4 化学反応の量的な関係		
	11月	2酸と塩基	1酸と塩基2酸・塩基の価数と強弱		
			3 水素イオン濃度と p H	実力考査	
3	12月		4 中和反応と量的関係		
			5中和反応と塩		
学	1月		1酸化と還元		2 4
-		3 酸化還元反応	2酸化数と酸化剤・還元剤	W -	2 7
期			3金属の酸化還元反応	学年末	
797	2月		4 金属のイオン化傾向	考査	
			5電池		
			6電気分解とその利用		

4. 評価の方法

1, 2学期2回、3学期1回年間計5回の定期考査、3学期1回の実力考査による評価授業での取り組みの様子(ノート・問題集・レポート・課題のプリント)による評価

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

基礎的な事柄の理解と習得の積み重ねが難解な事柄の理解と習得につながるので、毎日の 授業への取り組む姿勢と問題演習・レポート提出が大切である。